

令和5年度の取組（予定）

1 市民への手話普及の推進

(1) 手話出前講座

【継続】受講団体へのアンケート実施及び分析（随時）

【継続・拡充】受講団体拡大に向けた周知（随時）

（継続）民生委員，放課後児童クラブ，各学校，障害福祉サービス事業所等

（拡充）保育園・幼稚園，介護事業所，民間企業等

小学校教員向けの講座実施（教育委員会と協議）

(2) こども手話講座

【継続】広報誌，SNSを利用した周知

【継続】全5回実施（実施時期は令和4年度のアンケート等を踏まえ検討）

【継続】アンケートの実施（全5回）及び分析（随時）

(3) 手話PR動画による情報発信

【継続】年3回程度，発信予定

【拡充】学校現場における動画活用について各学校へ周知（教育委員会と協議）

(4) 子ども向け手話リーフレット「手話ってなあに」の配付

【継続】市内の全小学4年生（約2,500人）に対しリーフレットを配付し，手話出前講座の周知と併せて，同リーフレットの手話出前講座における活用を促す

2 令和5年度手話施策に係る意見交換会

講師謝礼として3万円の予算要求を行っている。

手話施策推進会議での協議結果を踏まえて事業を実施する。

令和4年度第2回会議では，テーマを確定させるとともに，具体的な内容や実施方法などについて意見徴取し，それを踏まえて令和5年度第1回会議で素案を示す予定としています。

（テーマ例）

- ・緊急時（災害等）における支援について（具体策の提案）
- ・医療機関への受診に係る課題について
- ・聴覚障害者の就労について

※過去の推進会議で意見・提案のあったものから例示していますが，これらに限定するものではありません。